

今なお、夢に心が弾む

第8期 OB 石田 陽一朗

イオン各務原店かかみがはらに配属になって、はや1年が経つ。大学時代、小野ゼミで出会い、心から面白いと思えた流通分野への熱をもって、イオンのグローバル採用に応募。イオンリテール(株)に入社した。

各務原市は、岐阜県南部に位置し、名古屋から40分ほどのところにある。今、私はイオン直営の食品売場のデイリー（牛乳、チーズ、豆腐、練り物、ハムなどの日配品）部門で、責任者（主任という）のもと、パートさんやアルバイトさん達を

まとめながら現場を管理する仕事をしています。一通りの現場技術は大まかに習得し、次は日々の売上予算、在庫量、売変率、荒利益率などを気にしながら売場を見る、つまりは主任になるための第一段階へ進んでいるところです。この仕事、非常に奥が深く、職人芸とすら言うほどの技術が存在します。どの辺がかというとは非常に長くなりますので、それは主任になったときにお書きするとします。



現役時代の著者。卒業謝恩会にて（右）



イオンモール各務原



イオンリテール(株) 東海の同期社員と共に (著者は中央)

次に、大切な同期の話をしたと思います。先にも書いた通り、僕が入社した年の採用は「グローバル採用」と銘打っているだけに、大体の方が外国育ちか、海外の大学を卒業しているかで、国内の大学から会社へ、という一般的なルートを通ってきた人の方が少ないのです。僕（現在 23 歳）よりも年が 3、4 つも上の人がほとんどであり、同い年周辺の方が少ないのです。極めつけは、高校卒業後、アメリカでギタリストとしてミュージシャンを目指していた同期がおり、彼は僕の親友です。日々の業務は非常に忙しく、ときに辛く、

不安や心細さで心許なく感じる夜もありますが、そんな時は、同期と電話をするだけで救われるのです。上司の愚痴や仕事のアレコレ、話題の飲み屋、恋愛云々、夢や目標などを話していると、「アイツがいてくれるなら」と頑張る力が湧いてくるのです。

今、現在の目標は、新規オープン店舗の立ち上げに加わることです。現在、東海地方では新規出店計画が近年で、耳にするだけで 3 店舗あるそうです。立ち上げでは、品揃えの決定からパートさんやアルバイトさん達の教育まで、何から何まで一から作りあげるのです。まっさらな建物、売場に色をつけていくことを考えるだけで胸がワクワクします。中部国際空港（セントレア）と隣接する位置に出店計画がされている「イオンモール常滑」、中部臨空都市構想の一部であり、そこで働けたらな…とベランダで煙草をふかしながら妄想するのが最近の日課です。入社当初はでかい破天荒な夢を掲げていましたけど、今は目の前の売場の仕事が楽しくて楽しみたいという気持ちが先行しています。やはり、本当に心躍る夢や目標は、今の自分と近すぎず遠すぎずの距離にある気がします。今の自分がどう頑張ればよいか、ぼんやりと分かるので、目標が微妙な現実味を帯びて感じられ、その瀬戸際にいる感覚が心を躍らすのでしょうか。今年は、心が躍り、居ても立ってもいられないという感覚、胸のドキドキを絶やさないようにしたいと思っています。そのようなときに最も、自分は貪るように多くのことを吸収していく気がするからです。現実との折り合いはもちろん必要ですが、前に進む気持ちだけは、高校生のようでいたいですね。

話が支離滅裂で申し訳ございませんが、私の近況をご報告申し上げます。

小野晃典先生、8 期生様、9 期生様、皆様、今年 1 年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。